

記者発表資料

道路事業における開通見通し公表箇所の進捗状況について【静岡県】

防災・減災、国土強靱化に向けた道路の5か年対策プログラム(中部ブロック版)【R3.4.27】※において、新たに開通見通しを公表した事業等の進捗状況と整備効果をご紹介します。

※「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」(令和2年12月11日閣議決定)に位置づけられた目標や事業規模等を踏まえ、5か年の具体的な事業進捗見通し等を示し、計画的な事業執行に取り組むとともに、周辺の開発事業等との連携を図りながら、対策の効果をより一層高めることを目的に策定したもの

<対象事業>

別紙1

① 国道1号 島田金谷バイパス

開通区間：旗指IC～大代IC(延長4.3km)、菊川ICフルインター化

開通年度：令和6年度、令和4年度

② 国道474号 三遠南信自動車道

佐久間道路・三遠道路

開通区間：東栄IC～鳳来峡IC(延長7.1km)

開通年度：令和7年度(トンネル工事が順調な場合)

③ 国道414号 伊豆縦貫自動車道

河津下田道路(Ⅱ期)

開通区間：河津IC(仮称)～逆川IC(仮称)(延長3.0km)

開通年度：令和4年度

④ 国道1号 静清バイパス 清水立体事業

開通区間：国道1号静清バイパス清水立体事業 上り線(延長2.4km)

開通年度：令和8年春頃

※また、以下リンクで各事業の詳細状況を公表していますので併せてご紹介します。

https://www.cbr.mlit.go.jp/road/road_subindex06.html

配布先

中部地方整備局記者クラブ、静岡県政記者クラブ、静岡市記者クラブ、沼津記者会、三島記者クラブ、下田記者クラブ、浜松市政記者クラブ

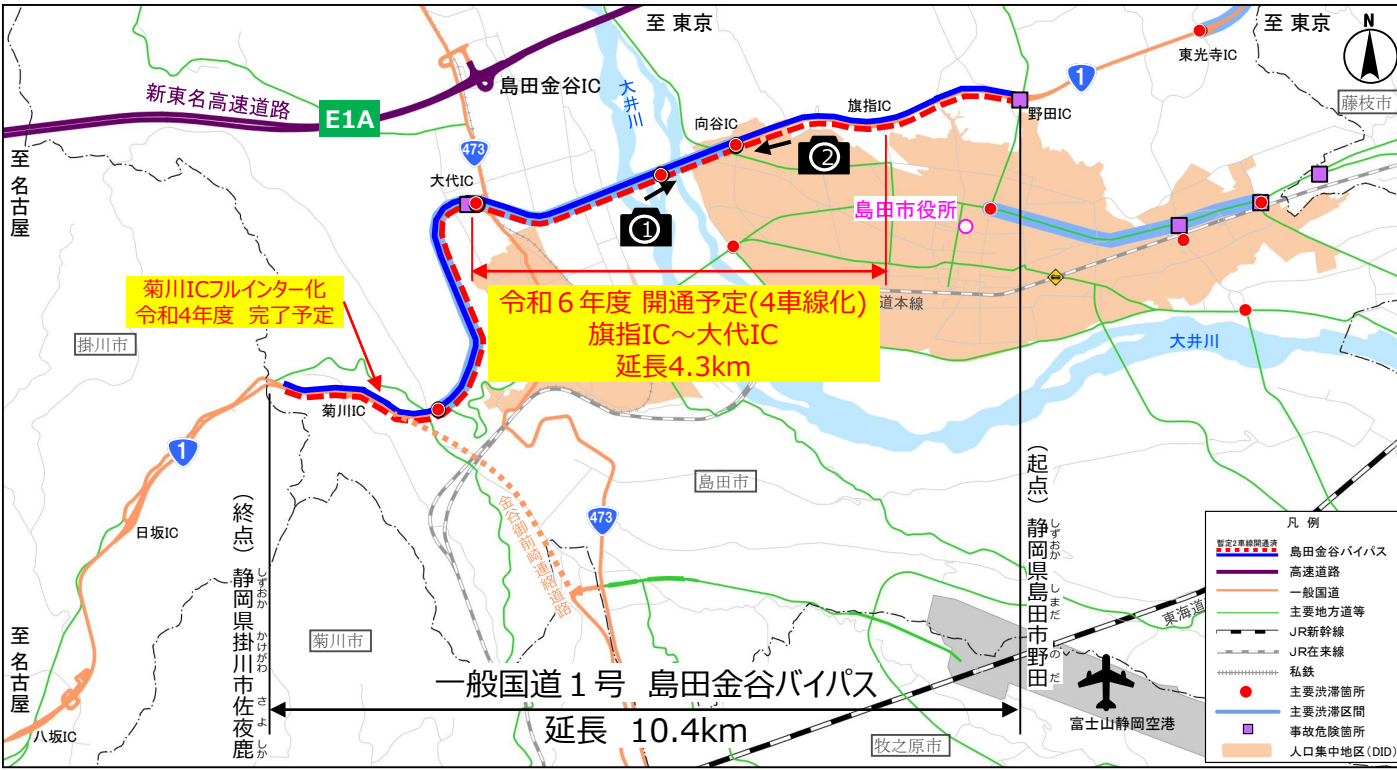
問い合わせ先

【事業①、②】	中部地方整備局	浜松河川国道事務所 副所長 柴田 康晴/計画課長 川島 謙 (TEL:053-466-0117)
【事業③】	同	沼津河川国道事務所 副所長 小川 喜睦/計画課長 野本 高視 (TEL:055-934-2010)
【事業④】	同	静岡国道事務所 副所長 浅井 聡 /計画課長 北川 洋平 (TEL:054-250-8900)

①「国道1号島田金谷バイパス」の開通見通しについて

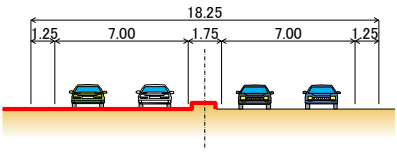
- **国道1号島田金谷バイパスのうち旗指IC～大代IC間（延長4.3km）は令和6年度に開通予定**です。
- **菊川ICについても、フルインター化が令和4年度に完了する予定**です。
- 開通に向け、令和4年度は新大井川橋の上部工を推進します。

■ 位置図

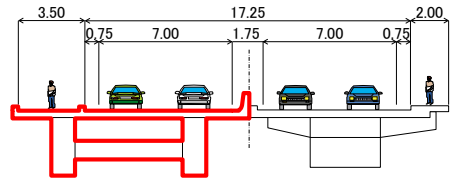


■ 標準断面図

【土工部】



【橋梁部（新大井川橋）】



— 今回事業範囲

■ 工事進捗状況

①新大井川橋において、橋梁上部工事を推進中



②向谷IC付近において橋梁上部工事を推進中

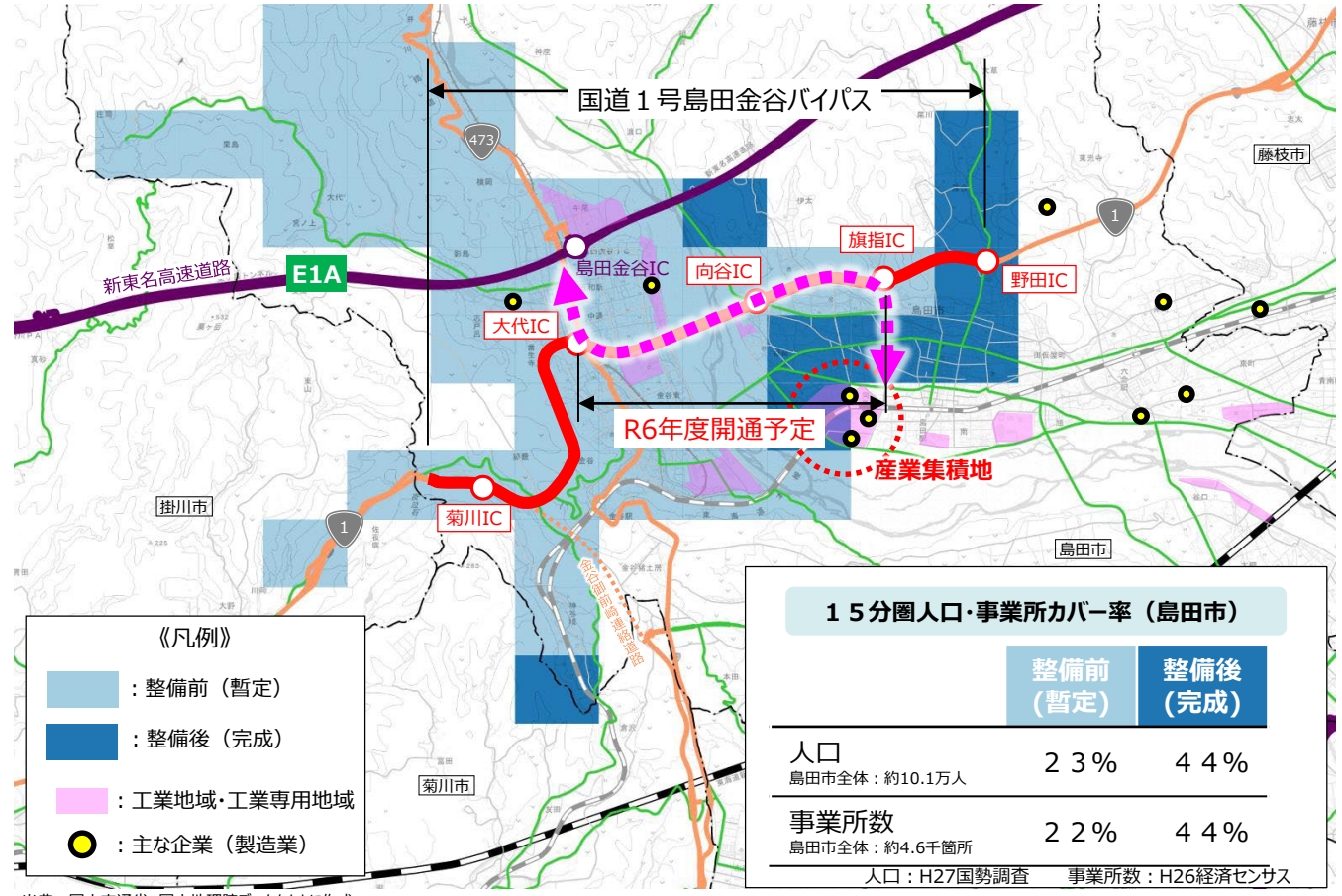


①「国道1号島田金谷バイパス」開通効果について

■ 定時性、速達性の向上による物流活動の支援

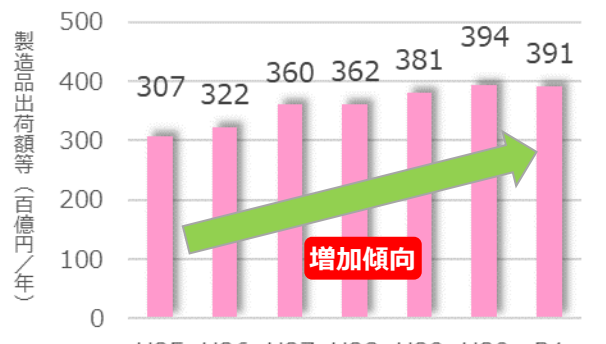
- 島田市及びその周辺市町の製造品出荷額は、近年、増加傾向にあり、新東名と沿線企業を結ぶ島田金谷バイパスは、当該地域の物流活動を支援
- 新大井川橋周辺の混雑により、産業集積地から、新東名「島田金谷 I C」までの定時性、速達性が損なわれているため、4車線化により、新東名「島田金谷 I C」への15分圏域が拡大し、物流効率化を図る

【島田金谷バイパス4車線化に伴う新東名高速道路島田金谷 I C の15分圏域の変化】



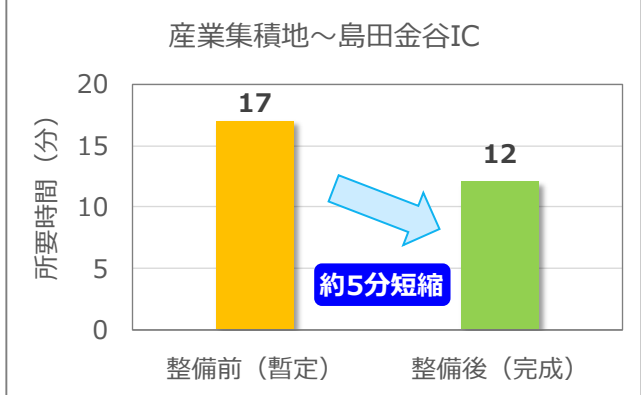
整備前 (暫定): 平日ETC2.0データ (R1.11月) ピーク時 (7時台) 平均旅行速度
整備後 (完成): 島田金谷バイパスは60km/hで設定

【島田金谷バイパス周辺市町村※の製造品出荷額推移】



※島田市、藤枝市、牧之原市、御前崎市、菊川市、掛川市、川根本町、吉田町、森町
出典: 工業統計 (各年)

【島田金谷バイパス4車線化後の I C アクセス所要時間】

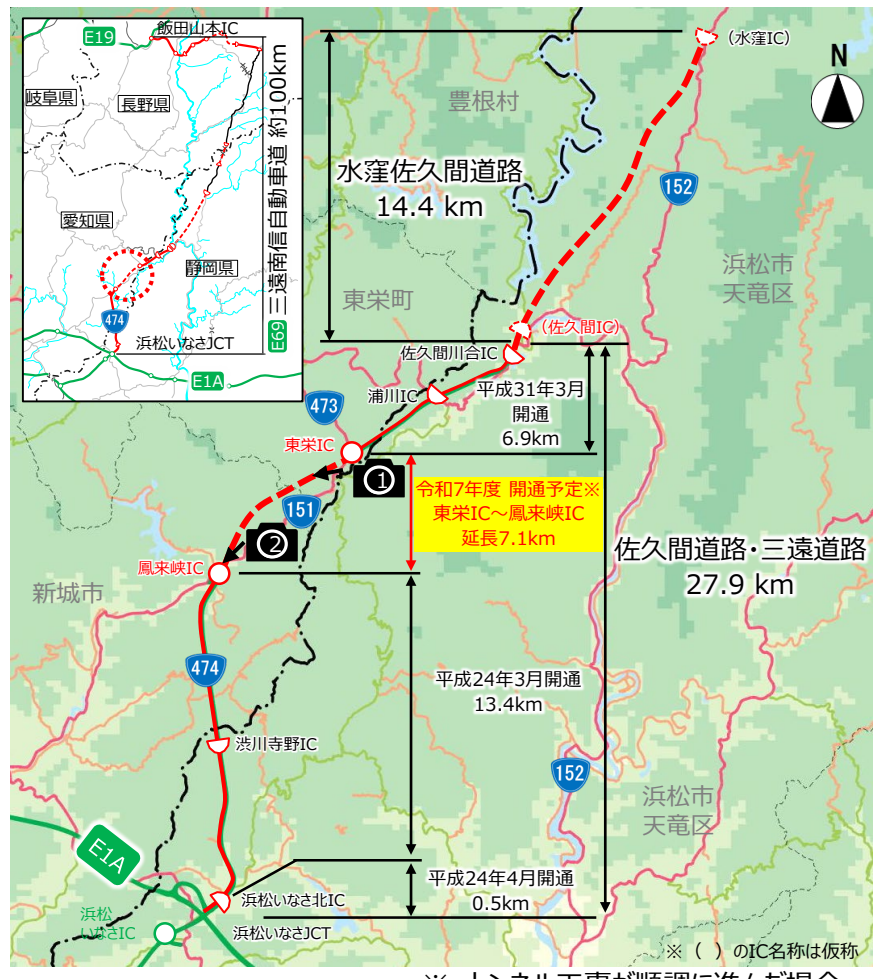


整備前 (暫定): 平日ETC2.0データ (R1.11月) ピーク時 (7時台) 平均旅行速度
整備後 (完成): 島田金谷バイパスは60km/hで設定

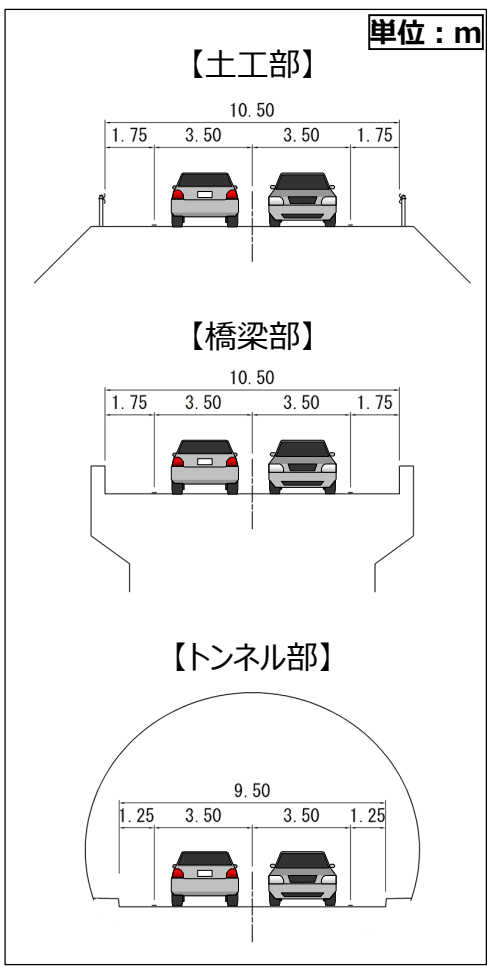
②「国道474号三遠南信自動車道 佐久間道路・三遠道路」の開通見通しについて

- **国道474号三遠南信自動車道のうち東栄IC～鳳来峡IC間（延長7.1km）は令和7年度※に開通予定**です。
- 開通に向け、令和4年度は新城地区においてトンネル工を推進します。

■ 位置図



■ 標準断面図



■ 工事進捗状況

① 東栄IC付近において橋梁上部工事を推進中

② 川合地区において、改良工を推進中



②「国道474号三遠南信自動車道 佐久間道路・三遠道路」の開通効果について

■災害に強い国土幹線道路ネットワークを構築

- 地域の生活道路である国道152号は、災害により通行止めが多発
- 令和2年7月豪雨災害では、三遠南信自動車道が災害時の代替路として機能

■災害通行止め箇所



【凡例】	
三遠南信自動車道	災害等による通行止め箇所
—— 開通区間	⊗ H24以降発生した通行止め
--- 事業中区間	⊗ H30 法面崩落
	⊗ R2.7 被災箇所
	⊗ R2.10 法面崩落

■国道152号の被災状況

①令和2年7月豪雨災害



R2.7.9 土砂流出発生



R2.7.9 秋葉トンネル内でクラック発生

7月豪雨の被災で国道152号**全面通行止め**※
 (※R2.7.9～R2.12.29までの173日間)

②令和2年10月の法面崩落



R2.10.13
 法面崩落により全面通行止め

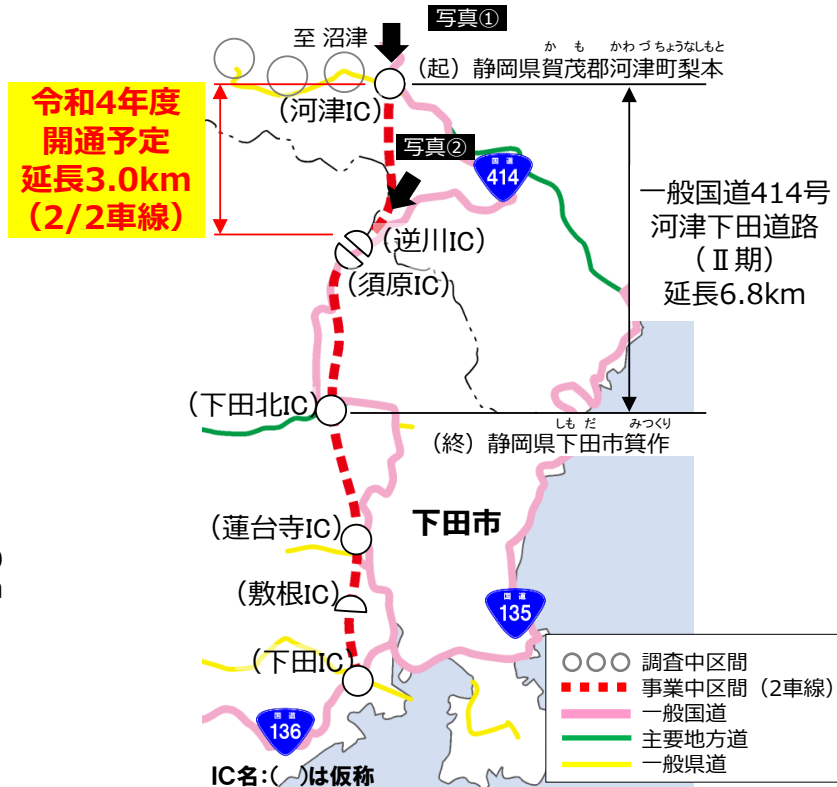
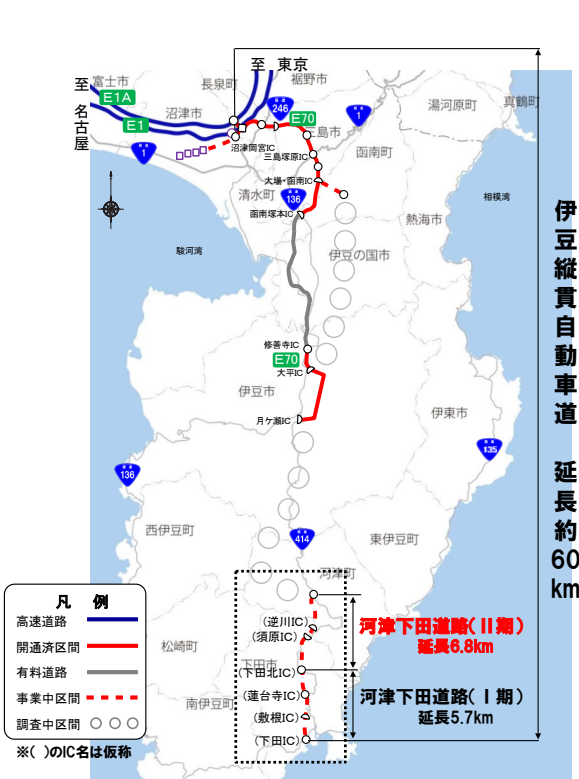
国道152号の迂回路となっていた県道大輪天竜線も**全面通行止め**※となり、**南北の交通が分断**
 (※R2.10.13～R3.2.26までの136日間)

③「国道414号河津下田道路（Ⅱ期）」の開通見通しについて

- **国道414号河津下田道路（Ⅱ期）の河津IC（仮称）～逆川IC間（仮称）（延長3.0km）は令和4年度に開通予定**であり、これにより夏季の大型車通行規制区間を回避することができます。
- 開通に向け、令和4年度は開通予定区間において改良工、橋梁上部工、トンネル設備工、道路設備工、舗装工を推進します。

■位置図

■拡大図



■工事進捗状況

①河津IC付近において橋梁上部工工事を推進中

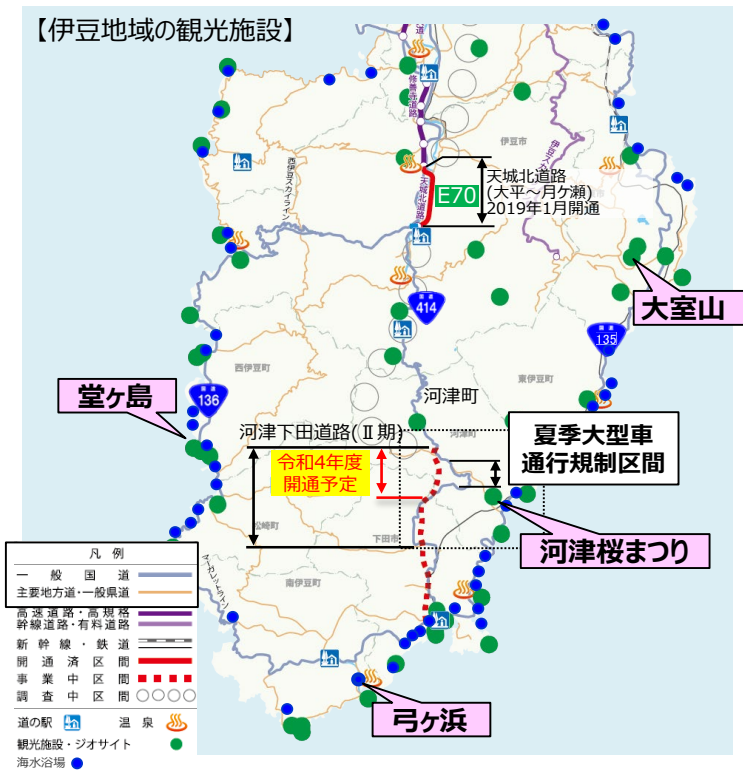
②河津トンネル付近において橋梁上部工工事、トンネル設備工事を推進中



③「国道414号河津下田道路（Ⅱ期）」の開通効果について

■地域活性化の支援（観光）

○南伊豆地域におけるアフターコロナの観光回復に期待

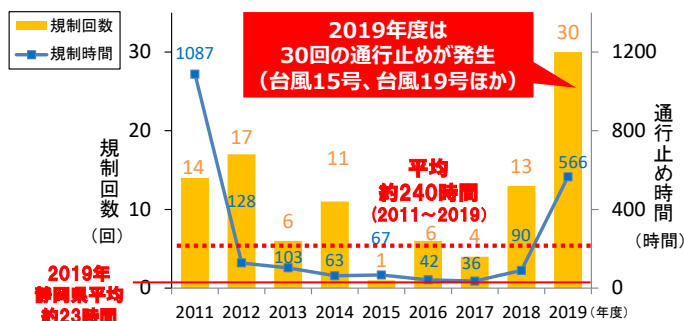
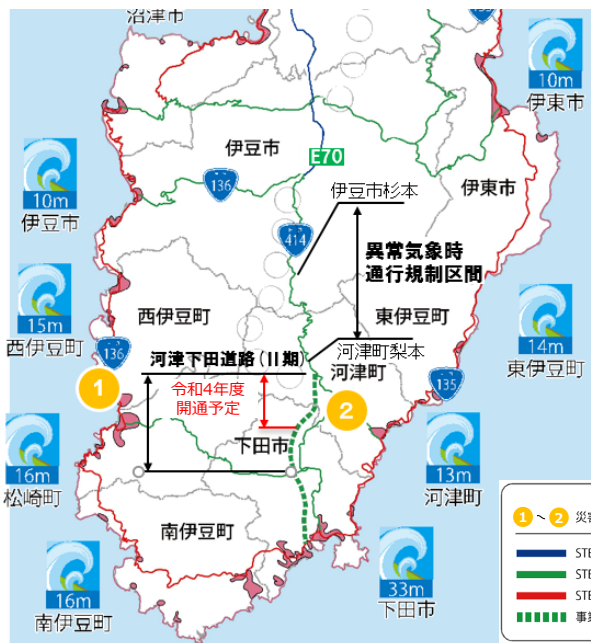


■災害時の緊急輸送道路の機能向上

○災害時の緊急輸送道路として迅速な活動を支援

【南海トラフ巨大地震時の最大津波高さ】

【国道135号、国道136号、国道414号の通行止め実績】



出典: 静岡県通行規制実績 (沼津土木事務所、熱海土木事務所、下田土木事務所)
※国道414号は旧道除く

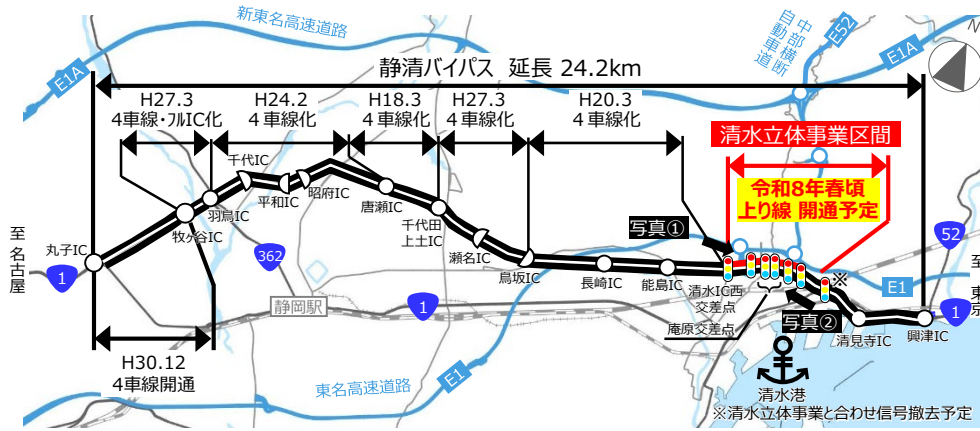


出典: 中部版「しの歯作戦」(2019.5)
津波高 静岡県第4次地震被害想定 レベル2 南海トラフ巨大地震の最大津波高さ (2015.1)
津波浸水想定 静岡県 (2020.3)

④「国道1号静岡清バイパス清水立体事業」の開通見通しについて

- 清水立体事業では、早期に整備効果を発現させるため、**上り線（東京向き）の工事を優先的に実施しており、令和8年春頃に上り線が開通予定**となりました。
- 開通に向け令和4年度は、開通予定区間において橋梁上部工工事、下部工工事を推進します。

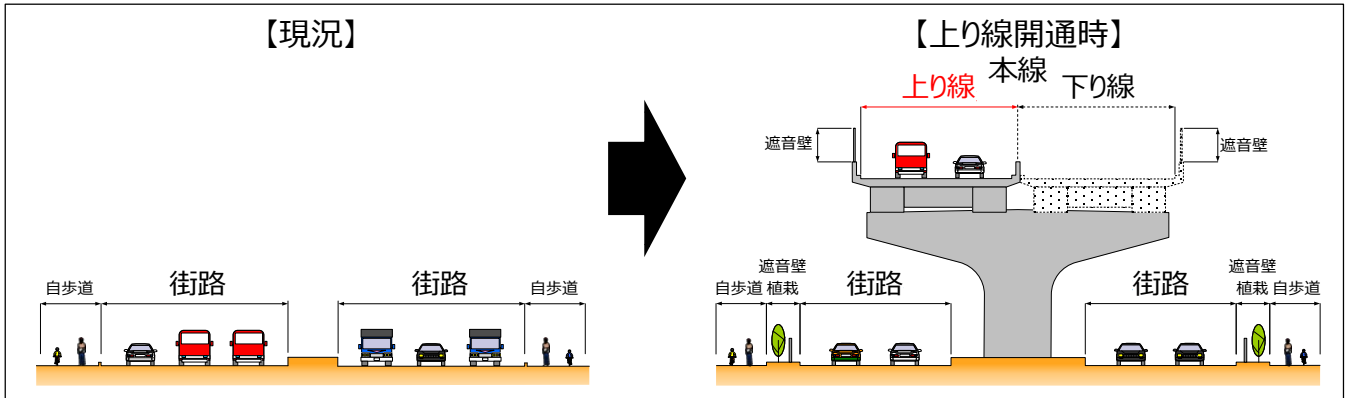
■位置図



＜計画の諸元と事業経緯＞

事業名	一般国道1号 静岡バイパス
区間	起) 静岡県静岡市清水区興津東町 終) 静岡県静岡市駿河区丸子二軒家
延長	24.2km
道路規格	第1種第3級 (一部第3種第1級)
車線数	4車線
清水立体事業経緯	平成19年度: 都市計画決定 平成21年度: 用地着手 平成28年度: 工事着手

■標準断面



■工事進捗状況

①八坂高架橋にて橋梁上部工事を推進中

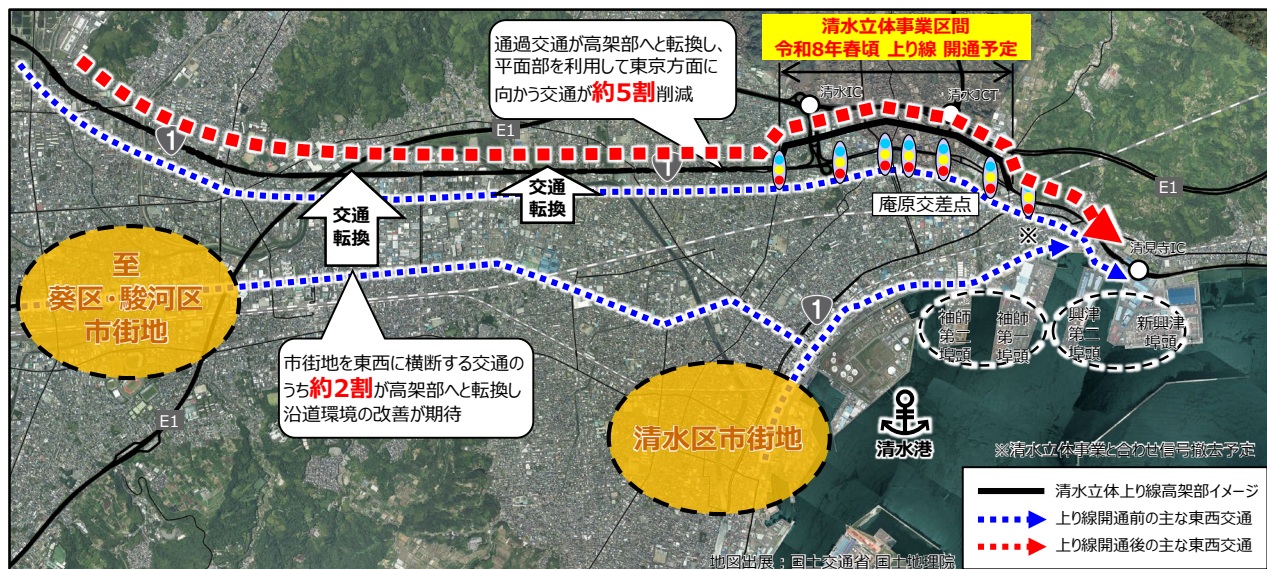
②尾羽第3高架橋にて下部工工事を推進中



④「国道1号静岡バイパス清水立体事業」の整備効果について

■ 交通渋滞の緩和

○上り線の開通により、高架部と街路部とに適正に分担させることで、渋滞の緩和が図られる



・整備による転換交通割合：交通量推計結果より

■ 物流効率化の支援

○上り線の開通により更なる港湾物流の活性化が期待

